

北海道の優良企業情報誌 [エラベル別冊]

Alevel

2024



北海道版



東京商工リサーチが独自の視点で厳選

北海道の「優良企業」



北海道
優良企業ガイド

経営者の考え
トップ
インタビュー
57名

エラベル2024 北海道版より抜粋



東京商工リサーチが厳選する

「優良企業」とは？

お取引先の信用調査に — 企業情報の提供

私たち消費者は、コンビニやスーパーなどで商品を買うとき、クレジットカード決済を除き商品と引き換えに代金を支払います。

しかし、企業と企業の間での取引は異なります。企業の取引には、同じ会社と何度も継続的に取引をするという特徴があるので、取引のたび支払を行えば、売る方も買う方も手間がかかります。そこで、商品を先に納め、支払いは1カ月後などルールを決め、まとめて払うようにするのが一般的です。バイト代もその日払いではなく、1カ月分を銀行振込という人が多いと思いますが、それと同じです。

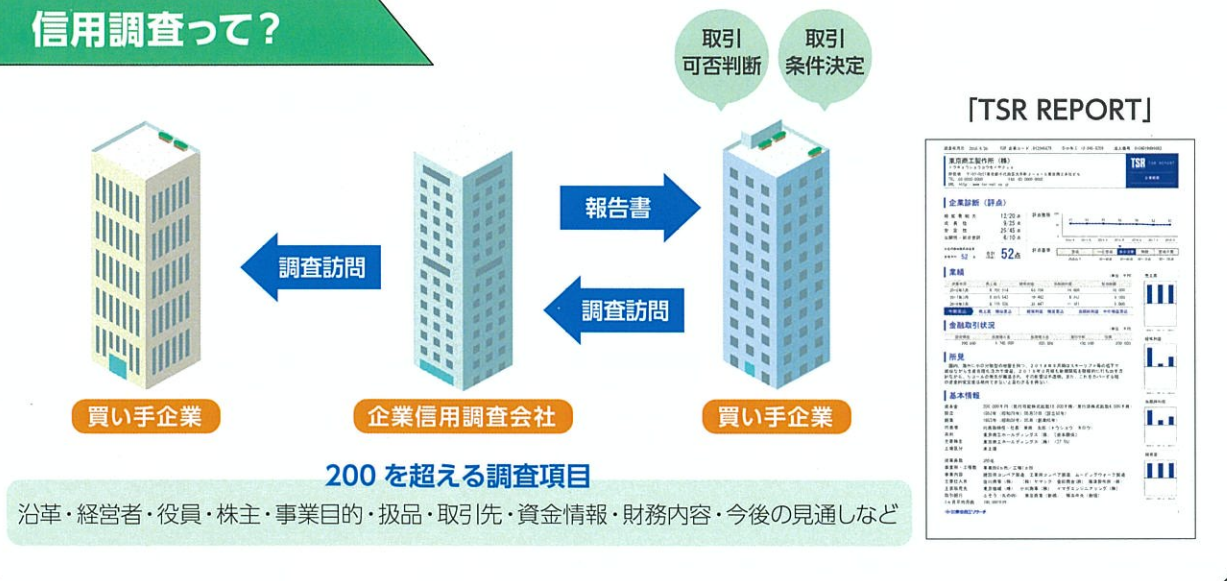
商品が先で支払いが後という取引では、売り手は無事に売上代金を回収できるかどうか、というリスクが存在し、このため安心して取引できる相手なのかを「知りたい」というニーズが発生します。これに応えるのが私たちTSRの行っている「企業信用調査」です。

TSRは明治25（1892）年創業の日本最古の信用調査会社です。現在全国で81カ所の事業所を構え、1,988名の従業員がいます。信用調査などを通じて収集した全国の企業データ

は936万社にも及び、日々蓄積を続けています。また平成6年には世界最大の企業情報サービスのリーディングカンパニーであるダンドブラッドストリート（D&B）と業務提携し、全世界240カ国超、5億1,236万社の企業情報を提供しています。



信用調査って？



TSR評点とは

企業信用調査を通じて会社の特徴、業績、財務内容、経営理念などを取材します。これらを基に総合的に算出したのが「TSR評点」（100点満点）です。大きく「経営者能力」「企業成長性」「企業安定性」「公開性・総合世評」に分かれ、更に

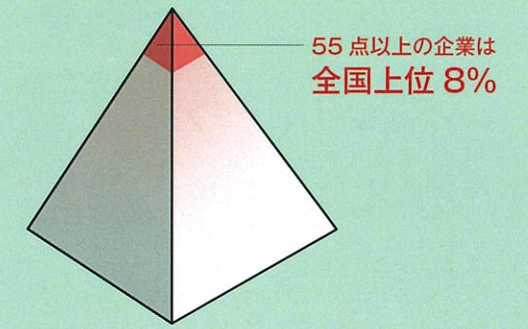
各々の分野で配点が細かく設定されています。TSRでは約154万社の企業に評点を付与しています。TSRの付与する評点は企業と取引をする際に一つの基準として金融機関、商社、メーカーなど民間企業から公共機関まで幅広く利用されています。

TSR評点（100点満点）

- ▶ **経営者能力** / 20点
資産担保余力や経営姿勢、事業経験から経営者の実力を判断
- ▶ **企業成長性** / 25点
資産担保余力や経営姿勢、事業経験から経営者の実力を判断
- ▶ **企業安定性** / 45点
取引先との関係性や、トラブル時の対応力などを業歴・自己資本・経済状況・金融取引・担保余力から判断
- ▶ **公開性・総合世評** / 10点
対外的な資料公開性があるか、風評などの有無を判断

エラベル掲載企業

本誌は評点55点以上の会社を掲載しています。TSRが評点を付与する企業は全国で約154万社、その中でも55点以上の企業は約12万4,500社、構成比では8%しかありません。今回、エラベルで取り上げる企業はその基準をクリアした会社ですから、「**日本全国の上位8%にランクインする企業**」ということになります。



学生のみなさんへ～中小企業の魅力

TSRでは日本国内約154万社の企業データベースを提供しています。税務統計上の企業数は約281万社です。その内訳は、大企業約1万2,000社、上場企業4,012（ツリーファイダー）社ですから、**中小企業の割合は99%**と圧倒的多数を占めています。どんな大企業であっても中小企業の協力なしに製品製造やサービスの提供はできないのです。日本国内の経済を牽引する関東地方には日本の将来を担うべき中小企業が多数あります。調査を通してインタビューする経営者には、注目すべき経営理念、ポリシーを持った方が多く存在します。経営者インタビューは自社の企業特性、将来性、求める人材像を中心に取材しています。優良企業ガイドはTSR評点55点以上の地元優良企業の求人情報を掲載しています。

就職すれば人生で一番長い人生を会社で過ごすこととなります。パナソニック、トヨタ自動車といった大企業も設立当初は中小企業からスタートしました。未来の大企業を自分の力で作れるチャンスも中小企業には秘められています。地場の中小企業にも優れた会社がたくさんあります。一度しかない人生で大輪の花を咲かせる会社を見つける。この本を手にとられる学生のみなさんに**中小企業の魅力**が伝わることを願っています。

中小企業の魅力

- **若い内から重要な仕事を任せられる**
- **経営者と同じ目線で仕事ができる**
- **特定の部門に特化しないため幅広く仕事を体験できる**
- **自分の働きが会社の成長に直結する**
- **地域に密着した仕事ができる**

就職活動を開始した当初はどうしても大企業中心に目が行きがちですが、中小企業にも違った魅力があります。



UD トラックス道東株式会社

TSR 認定優良企業 帯広市

ホームページ



重要なのはトライアル
学び合いを大切に



このときから私は、常に人々の生活を下支えしているという自覚と誇りを持って仕事に取り組むことを意識するようになりました。今後はAIやIoTなどを活用した総合的な物流システムの構築提案にも力を入れていきたいと考えています。

営業エリアである道東は国の食糧倉庫と言えるほど豊かなところ。これからますます重要になってくるであろう食料の自給について考えても、私たちの仕事が担う役割はより大きくなっていくのではないかと考えています。

失敗前提でOK！ 気づいたことを行動に

私が目指しているのは「言いたいことが言える」「トライアルができる」そして「学び合いができる」会

社。近年こそ、当社の風通しのよさを評価して下さる方が増え、頼まれて社風づくりについて人前で話す機会もいただくようになりましたが、私が代を引き継いだときには社内が膠着し、匿名のアンケートをとれば数々の不満が噴出するような状態でした。

その雰囲気を変えたいと始めたのが『ES・CS事例集』。これは、社内改善につながると気づいたことを報告してもらう活動で、掃除や片付けなどどんな些細なことでも構わないこと、報告数や内容を個人の査定には紐づけしないことを徹底しました。はじめは反応も僅かでしたが、10年続けた今は毎年分厚い報告書ができるほどにまで定着し、それと共に社内の雰囲気も大きく変わってきました。

集団があれば少数の秀でた人、もしくは落第がちな人に目を奪われがちですが、大多数は普通と呼ばれてしまう人。私はこの静かな多数派を自己表現が苦手な人と考えています。その大多数に目を向けることで、彼らが結果を気にせず自分の気づきを行動に移せる人になって欲しいと思ったのです。失敗前提でいいからトライアルを増やす。ES・CS事例集を続けることでそれが社内全体に浸透してきたと感じています。

昨年、若手に採用活動を任せて、年配は決して口を出さないという約束で採用動画を作ってもらいました。担当者が失敗を恐れずトライアルしたことで、今までにない面白い内容になっています。これをきっかけに、当社に興味を持ってくれる人が増えたら、と願っています。



代表取締役 金尾 泰明

profile：札幌学院大学を卒業後、数社での勤務を経て、1999年に当社の前身・日産ディーゼル道東販売（株）に入社。社名変更後の2011年5月に代表取締役に就任した。近年社風づくりのユニークな取り組みが注目され、道内で講演も行う。

命に直結する流通 重要性を実感して

創業時から当社が一貫して扱っているのは、物流を支えるトラックです。UD トラックス(旧・日産ディーゼル)が製造する各種の車両販売はもちろん整備、修理までを行います。

多くの人は、普段物流について意識することは少ないと思いますが、宅配便が届くのもスーパーの棚に潤沢に商品が並ぶのも、工業製品が滞りなく製造されるのも、物流が問題なく行われているから。実は、日々の暮らしのほとんど全てに物流業者が絡んでいます。つまり、物流は人

の命と直結する仕事なのです。私がそれを実感したのは、2011年の東日本大震災のとき。交通が遮断され物資が届かなくなることで、人々が心身ともに危機に陥っている様子を目にしました。恥ずかしながら私は、そのとき初めて自分のいる業界の重要性に気が付いたのです。

Company Information

TSR 企業コード：08-001537-9

所在地 〒080-2461
北海道帯広市西 21 条北 1-3-12

TEL 0155-37-2271
URL <https://ud-doto.co.jp/>

設立 1971年8月
売上高 83億7,200万円(2022年3月期)
従業員数 152名

